

Creative Learning

(日本で言う自宅を利用した「ママさん保育」施設)

東京都認証保育所
暁愛児園 園長 児玉真理

最初に

この施設は大きな保育所よりも保育料が安くアットホームな環境。

先生は子どもにたずさわる資格を取得し、先生1人に対し7人の子を預かることができる。

施設の概要

閑静な住宅街の中の1軒。2階建ての1階部分を保育室にしている。施設内を大きく分けるとキッチン1部屋、遊戯室2部屋と赤ちゃんのオムツ変えや寝るところを兼ねたプライベートルーム。適度な広さの庭には、芝生が広がり畑を2ヶ所設けてある。プラスチック製のリアカータイプのお散歩カー1台。

キッチンは入り口と兼用になり食事の様子が来客に丸見えで驚いたが、奥の遊戯室2部屋はとても広く家庭的。

人格を尊重した教育

今回視察した先生は男性保育士1人に対し異年齢6人と驚いたがとても丁寧な保育は、保育というよりも人格を尊重した教育だ。このようなすばらしい保育は、UVIC 幼児教育を学び博士号取得の高学歴と先生の資質と、カナダのママさん保育ライセンスの質の高さを感じた。

遊戯室2部屋は、楽しく遊ぶ部屋とくつろぐ部屋とにまとめられている。

遊びの部屋(ハウス・車・パソコン・絵本・人形など)

くつろぎの部屋(テレビ・ソファー・トラの

敷物のような薄いマット状の白くまのぬいぐるみが人数分重ねてあり昼寝に各々使う様子が何え微笑ましい)



保育内容

* 散歩の時間

部屋の中のおもちゃの片付けはしない。子どもに上着、帽子、手袋をしっかりと先生が丁寧に着せ出発。防寒の様子は日本よりもとてもきめ細かく対応している。

カートに小さい子3人を乗せお兄さんの子どもと先生が引いて近くの公園へ。大きい子ども達は小さいこの面倒を見、先生のお手伝いを無意識のうちに行い、兄弟のようだ。先生はおだやかで丁寧に子に向き合い子ども達の気持ちを尊重して保育にあたる。行き帰りの散歩道中、横断のルールなど確認したり、帰りたくないといぐずる子どもやカートの上で立とうとする子、カートを引きたがる子それぞれの場面においての子の対応し方に質の高さを感じた。



* 公園

他の Creative Learning 数組が集まり、子ども達でにぎあう。どの施設の先生方もエプロンはずせず、コート姿がとてもお洒落。遊びながら、鼻を拭く、身なりを整えてやる等日本女性保育士よりもきめ細やか。

・公園の設備

遊具の下には木製チップを敷き詰め安全に配慮している。公園の出入り口は柵の開閉金具が設置され、子どもが園外に出てしまう心配がない。広い公園にもかかわらず、柵で囲まれ、柵は垣根により目隠しされ、柵の中で遊んでいる雰囲気は感じられない。垣根も汽車の形に剪定され楽しい。

* 保育室に戻る

声をかけると帰りたくないでぐずる子どもいたが先生がしっかり話を聞いてやり、無理やりといったことはしない。先生は話を聞きながらひょいと肩に担ぎ楽しそうに帰る後姿に男性保育士の力を感じた。後でこの子はお漏らしをしてしまったことを知り、来客である私たちに知られることが嫌だったと察した。

カートに乗っていた3人のうち1人がお兄さん達と一緒に走って帰りたいと先生に伝えると、気持ちを汲みおろしてあげた。が、しっかりと手を引いて連れて帰る。

* ランチタイム

保育所に戻っても特に手を洗う習慣は

なさそうだ。トイレ・オムツの交換はプライバシーを大切にしている。ズボンのはき方等も丁寧に指導している。食事時間になると皆席につき先生が電子レンジで温めたお弁当を順に用意してくれる。お弁当といってもほとんどがサンドイッチ。良くてプラススープ。日本のお弁当・給食・昼食はすばらしい！と実感しました。

* この仕事

利用者は立派な仕事に就かれている人が多い。男性保育士である先生のライセンスやお人柄の信頼が深く安心してお任せしている。日本では一人の保育士に7人の子どもとは認められないが、立派な保育内容に感心させられた。先生につらいところを質問すると、休みがないことと笑っていらしゃいました。奥様が時々お手伝いしてくれるそうです。

